

北部コミセン通信

自主事業・パッチワーク教室

今年も華やかにつるし雛

北部コミセンのロビーが、つるし雛で華やかに彩られています。ひな祭りに合わせて、パッチワーク教室の皆さんが製作したものです。



コミセンの利用者が、色とりどりのつるし雛を見上げて「すごいね〜！」と感嘆の声を上げる場面もたびたびです。

パッチワーク教室は、毎週木曜日の開講です。コロナ禍でも元気に満載、絶好調。メンバー募集中です。



北部コミセン、元気です

北の湯はお休み中

「新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言」が発出中で、北の湯はお休みしていますが、それ以外の施設は平常通り使うことができます。

大集会室は、週2回バスケットボールを楽しむ、若者グループの元気な声が響きます。また先日は柳沢の老人クラブ亀鶴会が、屋内でグラウンドゴルフに汗を流していました。

最近特に多いのが家族単位での利用です。親子でやってきて、バドミントンやバスケットボールを楽しんでいます。少人数での「二部使用」ですので料金も格安です。

研修室は、毎週木曜日パッチワーク教室で賑やかになるほか、月1回の北部写真愛好家サロンや各種会合で使われています。

談話室は、週2回の日本舞踊のお稽古に使われています。ラジカセからは渋い歌謡曲が流れています。

コロナ禍で、北部コミセンの自主事業がパッチワーク教室や写真サロン以外の、人が大勢集まる事業を中止しているのは寂しいですが、施設の利用にはストップがかかっています。どうぞご利用ください。北部コミセンは元気にお待ちしております。



北コミ日記

〇月△日 晴れ

午後3時ごろ、沿岸からの自衛隊の大きなシープが到着した。いつもならすぐに、大きなリュックと寝袋を抱えて入ってくるのに、なかなか来ない。

何やら外が騒がしいので、出てみると車の荷台から草刈り機や燃料缶をおろしているところだった。

「どうしたんですか、その草刈り機?」「前の道路沿いを刈らせてください!」なんと、草刈りしてくれろという。

総勢八名。「草刈り機班」、歩道をきれいにする「ほうき班」、それに「ミセンの庭を整備する「草むしり班」とに分かれ、打合せ後、活動開始!

約一時間、歩道沿いの草地も、歩道も、庭もとてもきれいになった。

お礼を言うと彼らは「いやいや」と、とても不器用に照れるだけ。

自衛隊員の心遣いに嬉しくなった。が、もしかして第十一生活支援隊のなかで、「ミセンは、草ほうほうでも何もしないようだから、なんとかしてやれ!」なんていう話になっていたのでは?、ちよっと心配に(汗)。

本当にありがとう!自衛隊さん!

引用した冒頭の文章は、平成23年6月発行のコミセン通信第2号の北コミ日記の記事である。

今の時期になると、東日本大震災の大災害はもちろんだが、自衛隊の皆さんの献身ぶりが懐かしく思い出される。

北部コミセンは、北海道から派遣された陸上自衛隊の後方基地となっていた。沿岸で被災者の生活支援活動をして、交代でやってきて北の湯で久しぶりの入浴をして、リフレッシュしてまた沿岸に向かうのだ。



そんな中で北部コミセンの草刈りや草むしりをしてくれたり、窓をピカピカにしてくれたたり、本当に清々しい活動ぶりに頭が下がる想いだった。(塩田)

北の湯

お休み中です

岩手緊急事態宣言が解除になるまで休止します。再開についてはお問合せください。

〇北部コミセン 688-5111

